

令和3年度福島県子どもの心のケア事業

専門職派遣事例紹介

～「ことばの相談会」への言語聴覚士の派遣～

機関名：葛尾村

□専門職派遣を活用した事業

〈ことばの相談会〉

東日本大震災および原発事故以降、世帯分離や避難生活の継続により孤立化しやすい育児環境となっている中で、ことばの発達に課題をもつ子どもが健診等で確認されるようになりました。そこで、母子（親子）特性や生活環境に配慮した専門職による相談会を実施するため、当事業を開催しました。

□専門職種と派遣申込理由

〈言語聴覚士〉

親子に対して、ことばの発達に関する指導・助言をいただきたいと思い、派遣を申し込みました。

□専門職派遣による効果

おもちゃや絵カード等で子どもの興味を引いて楽しく遊びながら、専門職の視点で子どもの現在の年齢に対する発達の程度等を観察し、母親に対しては家庭でのことばを意識した関わり方のポイントを分かりやすく伝えて頂きました。（擬音語を意識する、興味がある物を介して遊んであげる等）楽しそうな子どもの様子を見て、母親もリラックスした様子で相談会に参加でき、専門職のアドバイスに対する受け入れも良い様子でした。

□今後の市町村事業と専門職について

言語聴覚士に限らず、専門職へ相談できる機会があるのは、子どもの発達を促すだけでなく保護者の安心にもつながると思います。また、1回限りではなく、複数回かけて関わる必要がある親子もいるため、今後もこうした事業を継続していく必要性を感じております。